

ごあい
さつ

日頃より大分DARCをご支援下さりありがとうございます。

コロナ禍の昨今ではありますが 6年ぶりのフォーラム開催をする事となりました。フォーラム開催にあたりまして、ご支援者の皆様をはじめ、更生保護法人日本更生保護協会様のご協力を頂きまして開催の準備を進める事が出来ております。

大分県内の薬物問題事情は、使用年齢の低年齢化、SNSの普及により「大麻使用・密売」など以前にも増して複雑化してきており、ダルクも多様な対応が求められております。しかし、薬物依存症は回復できる病気であり、フォーラムでは、ダルクの歩みや回復のメッセージを届けるとともに、地域の方々と問題と解決策を共有できる場になればと思っております。

「認定」特定非営利活動法人 大分DARC
施設長 藤川 聡



講和 ひえじま しげと
比江島 誠人 氏

医療法人横田会向陽台病院 院長
精神保健指定医
日本精神神経学会精神科専門医・指導医

プロ
グ
ラ
ム

- 比江島 誠人先生 講話
- ダルクの仲間達の話
- ダルクOBの仲間の話
- スライドショー
- 各ダルクの紹介

※プログラムの内容は予定です

- 2019年4月-現在 熊本県精神保健福祉センター依存症相談員(嘱託医)
- 2022年4月-現在 熊本DARC理事
- 1996年5月 宮崎医科大学附属病院精神科研修医
- 1997年10月 宮崎県立富養園研修医
- 1998年10月 国立肥前療養所レジデント
- 1999年6月 同 アルコール・薬物病棟医長
(2004年4月 国立病院機構肥前精神医療センターへ改組)
- 2006年9月 国立病院機構琉球病院精神科医長
- 2007年9月 医療法人ハートピア細見クリニック副院長
- 2013年9月 医療法人同仁会谷口病院
- 2018年4月 医療法人横田会向陽台病院副院長 / メンタルクリニック保田隆
- 2020年2月 現職

What
is

ダルクとは?.....

1985年に日本で初めて創られた民間の薬物依存症のリハビリ施設です。創設から40年近く経った今、全国に65団体91施設、韓国3団体3施設のダルクがあります。ダルクのプログラムは、自助グループの回復プログラムに基づいたグループミーティングを核に、体力づくりや地域ボランティア、レクリエーションなどがありますが、同じ問題を抱えた仲間と今日一日を過ごすことにより、苦しみを分かち合い、希望を見出します。ダルクの目的は薬物を止めたい仲間の手助けをすることだけであり、回復し、社会の有用な一員になることをサポートします。

Us

大分ダルクは平成8年に誕生しました。平成9年に大分県から精神障害者のグループホームとして認可され、平成10年に小規模作業所として国・県・市から認可されました。平成19年8月に法人格を得し特定非営利活動法人になりました。昨年、令和4年12月に県から認定を受け「認定」特定非営利活動法人大分DARCとして現在活動しております。

〒870-0021
大分県大分市府内町3丁目7-19 藤本ビル3階
TEL・FAX 097-574-5106
E-mail opensesame88@nifty.com
「認定」特定非営利活動法人 大分DARC
理事 河村 郁男
施設長 藤川 聡

日時

2023年3月5日(日)
13:00~16:30(受付開始12:30)

会場

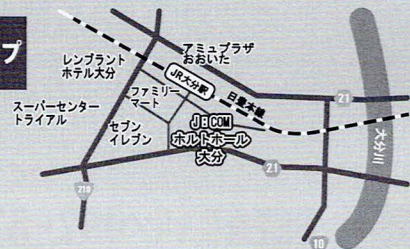
ホルトホール大分 3階302・303会議室
大分市金池南1丁目5番1号

お問
合せ

TEL 097-574-5106 大分ダルク
E-mail opensesame88@nifty.com
HP <https://oitadarc.jimdofree.com>

今後の感染状況により中止となる場合がございます。
ご来場の前に必ずホームページ oitadarc.jimdofree.com をご確認ください。

マップ



駐車場

専用駐車場利用時間
午前8時00分~午後11時 最初の30分無料、以降30分毎に100円
23時以降の出勤はできません。翌日出庫までの駐車料金が加算されます。
地下駐車場 170台(うち障がい者専用13台 ※車椅子利用者6台含む)
地上駐車場 4台(車椅子利用者用)

主催「認定」特定非営利活動法人大分DARC

後援 / 大分県・大分市・大分県弁護士会・大分県医師会・大分保護観察所・大分県保護司会連合会・大分県更生保護女性会
NHK大分放送局・OBS大分放送・OAB大分朝日放送・TOSテレビ大分・大分合同新聞....(順不同)